

鳥取市政懇話会（第 5 回）全体会資料

平成 22 年 8 月 31 日

担当部署 都市整備部 交通政策室

利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システムの構築

→平成 24 年度に一部地域での実証運行を目指す！！

1 背景・目的

- 本市の公共交通の現状は、利用者の減少が減便や廃止などサービス低下を招き、サービス低下がさらに利用者の減少を招くという悪循環となっている。
- その結果、いわゆる買い物難民など移動困難者が増加する一方、また、高齢者がクルマに頼らざるを得ないために高齢運転者による交通事故が多く発生している状況。
- 安全に安心して移動できる社会をつくるためには、現在の公共交通体系を抜本的に見直し、利便性が高く効率的な新しい総合公共交通システムを構築する必要がある。
- このため、現状のバス路線網を再編し、鉄道、タクシー、自転車等、他の交通手段との連携を図り、有識者、交通事業者、行政が一丸となって検討協議し、実証運行を行なう。

2 事業概要**平成 22 年度**

- バス路線網の再編と、鉄道、タクシー、自転車の交通環境整備も含めた総合的な施策として、「鳥取市公共交通利用促進総合再編実施計画」を策定（実施計画のイメージ「別紙」）

平成 23 年度

- 策定した実施計画に基づき実証運行の準備
 - ① 乗継拠点(プラットホーム)の整備
 - ② 交通系 IC カードシステム整備
 - ③ コミュニティサイクル、駐輪場つきバス停整備、等

平成 24 年度

- 南部地域での実証運行実施
- 他地域での実証運行計画策定

平成 25 年度～

- 順次、他の地域での実証運行を実施（平成 24 年度実証運行が円滑に進んだ場合）
- 本格導入（実証運行の結果を踏まえて検討）